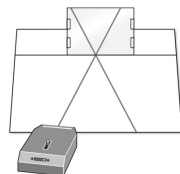


1章 光の性質 <2. 光の反射>

めあて

<実験方法> 光の反射 教科書P145～

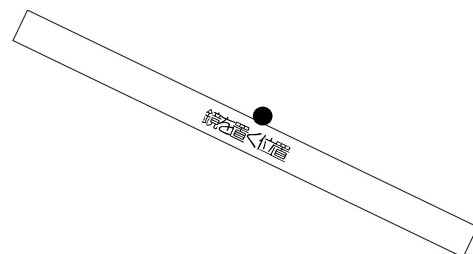
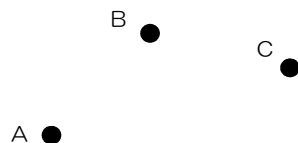
1. 紙に鏡を立てる直線を書き、直線に沿って鏡を立てる。
2. 光を鏡に当て、入射光の道筋を記録する。
3. 反射光の道筋を記録する。
4. 光の道筋を直線を書く。
5. 結果をまとめ、考察を行う。



<結果①> 好きな位置から鏡に向けて光をあて、光の道筋を記録しよう。

鏡を置く位置

<結果②> A～Cの点から鏡の点に向けて光の道筋を記録しよう。

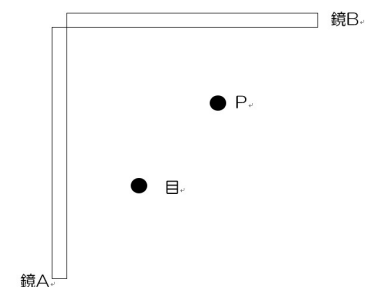


<結果①、②から分かること・考察>

*POINT

1. 光は直進し、物体にあたると 反射 する。
2. 光が境界面で反射するときは、入射角 と 反射角 は 大きさが等しくなる。
(入射角 = 反射角) これを 光の反射の法則 という。
3. 鏡に映った物体を 像 という。
4. 凸凹した表面の物体では、乱反射 が起こる。

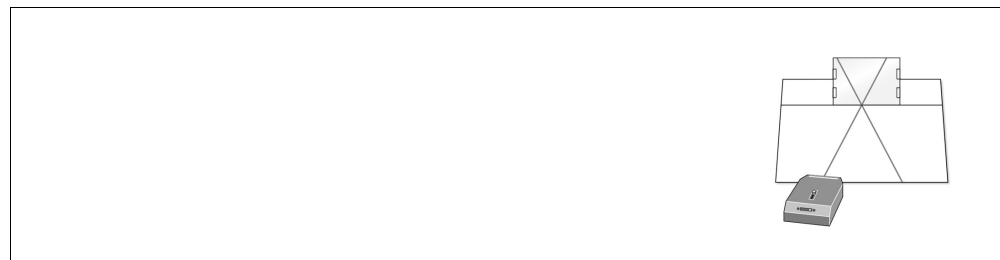
【チャレンジ】2枚の鏡A・Bを使ったとき、物体Pの像はどのように見えるか考えよう。



●ふりかえり 今日の授業でわかったこと・感想

めあて

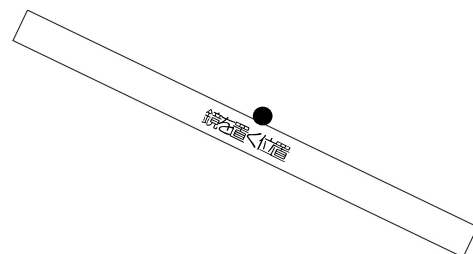
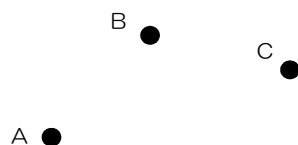
<実験方法> 光の反射 教科書P145～



<結果①> 好きな位置から鏡に向けて光をあて、光の道筋を記録しよう。

鏡を置く位置

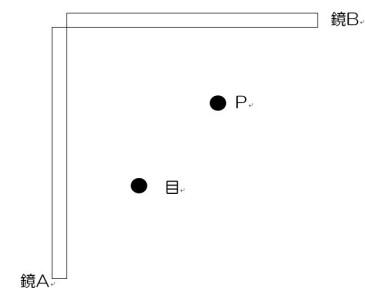
<結果②> A～Cの点から鏡の点に向けて光の道筋を記録しよう。



<結果①、②から分かること・考察>

*POINT

【チャレンジ】2枚の鏡A・Bを使ったとき、物体Pの像はどのように見えるか考えよう。



●ふりかえり 今日の授業でわかったこと・感想